

雨水出水浸水想定区域図に関するQ&A

No	Q：質問	A：回答
1	区域に指定されるとどうなりますか。	雨水出水浸水想定区域図に指定されると、市長は内水ハザードマップを作成し、配布するなどの措置を講じる必要があります。
2	なぜ雨水出水浸水想定区域図(想定最大規模降雨)が必要なのですか。	近年、下水道などの雨水排水施設の排水能力を上回るような大雨が全国的に増加しており、長浜市でも床上下浸水や道路冠水といった被害が発生しております。 このような状況から、令和3年の水防法改正により、雨水出水浸水想定区域図は、大雨が発生した場合に想定される浸水区域や浸水深を公表することで、皆様のお住まいや職場、学校の周りで想定される浸水リスクをご確認いただき、速やかに避難できるよう活用するために作成・公表されています。
3	雨水出水浸水想定区域図とハザードマップとの違いは何ですか。	雨水出水浸水想定区域図、内水ハザードマップともに、円滑な避難行動や平常時からの防災意識向上を図るために活用されるものです。ハザードマップには、水害時の避難場所、避難方法などの情報が雨水出水浸水想定区域図に追加されます。
4	想定最大規模降雨とは何ですか。	想定最大規模降雨は、国土交通省が作成した設定手法に基づき決定しています。 平成20年7月18日の降雨を基に1時間最大降雨量は147mmになるように引延ばして作成しています。これは1000年に1回発生する確率の雨量です。
5	浸水深が記載されていますが、どのくらいの深さの浸水が予想されるのですか。	この図に示されている浸水深は、想定最大規模降雨が発生した場合に予想される浸水の深さです。具体的な浸水深については内水浸水想定区域作成マニュアル(案)に基づいて表示しております。 浸水深の目安は次のとおりです。 0.5m：1階床高に相当する浸水深 3.0m：2階床下に相当する浸水深
6	時間147mmの雨はどのくらいの雨ですか。	平成20年7月18日の大雨で時間最大雨量84mmを観測しています。約1.75倍の雨量となります。 https://www.youtube.com/watch?v=AJRgQH6-Qyw
7	地先の安全度マップとの違いは何ですか。	地先の安全度マップは「河川からの氾濫」に重きを置いていますが、今回の「雨水出水」は「排水が追いつかないリスク」です。「川から離れていても浸水する可能性がある」というメッセージがあります。
8	雨水出水浸水想定区域図は何に基づいて作成しましたか。	内水浸水想定区域図作成マニュアル(案)(令和3年7月)に基づいて作成しています。